

平成30年度第5回

農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー

島の魅力発掘をなりわいに！



いえしまコンシェルジュ
中西和也氏
兵庫県姫路市家島

参加費2000円

2018年11月14日(水) 13:30~16:30

地方創生の本質は、若者人口の確保であり、その若者が生活できる環境ではないでしょうか。農山漁村地域に移住定住するには、地域の資源を活かした起業に注目があつまっています。何を材料にどう起業するのかケーススタディから学びたいと思います。

今回の農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナーは、大阪から家島に移住9年目。移住後、妻に子ども二人、マイカー、マイホーム、さらにはゲストハウスまでを持つようになった若者の活動を紹介します。家島諸島は、兵庫県の南西部、瀬戸内海播磨灘に浮かぶ40余の島々の総称です。島の歴史は古く、旧石器時代から移籍が見られ多くの伝説や物語が存在します。例えば毎年盛大に行なわれる天神祭の祭神が奉られている家島神社は、平安時代初期の延喜式(905年延喜5年)にできた律令の施行細則にも載っている神社として知られています。

中西さんは、熊本大学で建築士の資格を取得、都市計画系のシンクタンクに勤務しているときに友人から、いえしまコンシェルジュ養成講座の開催を聞いて参加して、「都市部ではできない働き方、暮らしのあり方にチャレンジしてみたい」という気持ちが芽生え、2011年3月に移住しました。いえしまコンシェルジュとは、観光や産業振興の企画立案と実践者です。家島観光のガイドを行いつつ、島のさまざまな資源を活用した観光交流資源の開発し実践する案内人として、生活しています。ガイド事業では、フリースクールや学童保育などの団体の依頼も少しずつ増え、現在では旅行会社からの依頼も多数受けて年間約2500名を案内。また特産品の製造や島の産物である魚を奈良のニュータウンと提携し、島の魚を定期的に発送販売や家島諸島内の漁業協同組合や水産加工会社と連携して、東京や大阪、姫路の飲食店などに鮮魚や特産品を販売しています。さらに男鹿島の空き家になっていた民宿を活用できないかとの相談を受け、大阪での建築士仲間を中心にゲストハウスとして活用を考え、延べ250名が参加し現在もメンバーと手作業で改修を続けながら、ゲストハウス「うみのいえ」として運用を図っています。

会場：都市農山漁村交流活性化機構会議室
千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5階

FAX 03-5256-5211

まちむら交流きこう行

FAXでお申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

参加申込書

第5回農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー

平成30年**11月14日(水)** 13:30~16:30

いえしまコンシェルジュ 中西 和也 氏

●氏名（ふりがな）

[]

●団体組織名・所属・役職*個人で申込む場合は、「所属・役職」の記入は結構です。

[]

●ご連絡先（TEL/FAX） []

●E-mail []

●参加費のお支払い方法について*

… 番号に○印をつけてください

1. 持ち込み 2. 振込

●必要書類（宛先の指定が有る場合下欄に記載）について

… *必要な書類の番号に○印をお付けください。

1 見積書（参加費内訳） 2 請求書 3 領収書

4 必要なし

… お宛名をお書きください。 ※空欄の場合は当申込書の団体名宛てになります。

お宛名

[]